御代田 消防署からみなさんへ



火災について

11月９日から11月15日まで秋の全国火災予防運動が行われます。これを機に火災予防について再度認識して火災から大切な命、財産を守るよう心がけましょう。

下記の表は令和７年中に発生した火災件数をそれぞれ比較したものになります。

比較	全国		長野県		御代田町	
	原因	件数	原因	件数	原因	件数
総数	40,783件		814件		12件	
原因別	たばこ	3,479	たき火	137	薪ストーブ	2
	たき火	3,303	火入れ	91	取　灰	1
	電気機器	3,240	こんろ	42	こんろ	1
	こんろ	2,850	ストーブ	41	焼却炉	1
	放　火	2,392	たばこ	33	火入れ	1
	火入れ	2,161	電灯電話等の配線	22	たばこ	1
	電灯電話等の配線	1,805	電気機器	19	ダクト	1
	配線器具	1,780	放火	19	原因不明	4

※原因上位を記載。全国は概数、長野県は速報値を示す。

火災件数や火災の原因は地域によって差があります。特に原因別として、全国では「たばこ」が多いのに対し、長野県や御代田町では、「たき火」や「火入れ」が多く見受けられます。

たき火や火入れは、風の強い日を避け、消火する道具を十分に用意し、その場から立ち去る際は水をかけ、完全に消火できたことを確認しましょう。

暖房機器の取扱い ～薪ストーブ編～

近年、薪ストーブを使用する家庭や店舗などが増えています。それに伴い、薪ストーブが原因の火災も多数発生しています。使用方法や注意事項を確認し、安全に使用しましょう。

火災の２大要因

- **低温炭化**：壁がストーブの熱に長期間さらされ続けることで壁が炭化し、突然発火することがあります。
- **煙道火災**：煙突内に溜まった煤やタールがストーブの過熱により引火し、煙突内で発生する火災です。

注意事項

1 薪ストーブと壁の距離に注意して、適切な距離で設置しましょう。
2 薪ストーブの周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。
3 たき殻等の火種が落ちた際の受け皿として、不燃材料性のたき殻受けを設置しましょう。
4 たき殻や灰の中に火種が残っている場合があります。燃えやすい物の近くには捨てないようにしましょう。
5 煙突内に煤やタールが溜まると火災の危険性が高くなります。定期的に煙突内を掃除しましょう。

日ごろから防火意識を高め火災を起こさないようにしましょう!

「火の確認　いい日を支える　いい習慣」 令和８年度全国統一防火標語

問い合わせ先　佐久広域連合消防本部　御代田消防署　（32）0119　※お掛け間違いにご注意ください。

（広告欄）
＼不動産売却はイエステーションへ／
土地・建物 大募集! 査定無料
イエステーション佐久店（株）熊木住建　通話無料 0120-801-370

緊急地震速報訓練に参加しよう!

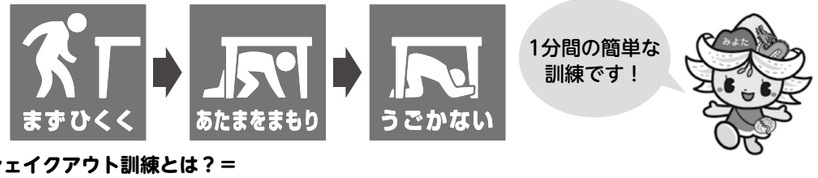
今年度は長野県北部で最大震度５強の地震が発生しました。また、北海道から九州にかけ、全国で震度５強以上の地震が複数回観測されました。

地震はいつ、どこで起こるか分かりません。いざというときに身を守れるよう、その場でできるシェイクアウト訓練をやってみましょう。

11月1日(日)午前9時ごろ、 防災無線やメール配信サービスなどで **緊急地震速報の伝達訓練** が行われます。

「ただいまから訓練放送を行います。」
「緊急地震速報、大地震(おおじしん)です。大地震です。」

速報を聞いたら、**シェイクアウト訓練**をやってみてください!



＝シェイクアウト訓練とは？＝
それぞれがいる場所で、「まず低く」、「頭を守り」、「動かない」の３つの安全確保行動をとる訓練です。

今年度に発生した災害を振り返ろう

今年度は、全国各地で大雨による土砂災害や浸水被害が発生し、一部の地域では記録的な雨量を観測しました。５月29日からは、新たな防災気象情報の運用も始まりました。

今年度に発生した主な災害を振り返り、日ごろの備えについて考えてみましょう。

時　期	災　害	被　害　・　特　徴
6月下旬	**台風7号**	九州から東海地方にかけ、道路の冠水・損傷、浸水被害、土砂崩れが発生。
7月中旬	**関東豪雨**	群馬・栃木県を主に局地的な大雨。道路冠水、浸水被害が発生。
8月中旬	**台風15号**	茨城県に上陸後、西日本に向け逆走。 栃木・茨城県を中心に倒木・停電等が発生。
8月中旬	**千葉県豪雨**	千葉県で総降水量が300ミリを超える豪雨。 浸水被害や道路冠水による車両の水没が多数発生。
8月下旬	**北陸豪雨**	富山・石川県で線状降水帯が発生。福井県でも大雨被害。浸水被害や土砂崩れによる孤立集落が発生。
9月上旬	**台風24号及び秋雨前線による大雨**	台風の影響で前線が停滞し全国で雨が長期化。 各地で浸水被害や土砂崩れが発生。
9月下旬	**台風25号及び前線による大雨**	千葉・神奈川県などで長時間豪雨により、土砂崩れや堤防の決壊による冠水被害が発生。

今年度は、台風の直撃による被害だけでなく、台風の影響で停滞した前線による長雨も、各地に被害をもたらしました。線状降水帯が発生した地域では、猛烈な雨により局地的に大きな被害が生じました。各地で土砂災害による住宅被害が発生し、集落が孤立した地域もありました。また、河川や水路からの越水や内水氾濫により、建物の浸水や道路の冠水、車両の水没も発生しました。

大きな被害をもたらすのは、台風の直撃だけではありません。防災気象情報に注意し、状況に応じた早めの避難など、適切な行動を心がけましょう。

台風シーズンを終えた今こそ、次の大雨への備えを見直す機会です。雨どいや側溝の清掃、止水板や土のうの準備など、被害を軽減するための対策を進めましょう。併せて、ハザードマップの確認やマイ・タイムラインの作成、避難経路を実際に歩いて危険箇所を確認するなど、いざというときに命を守る行動がとれるよう、日ごろから準備しておきましょう。